

『時事直言』 No.1552 2022年6月13日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] t_masuda2019/

[instagram] t_masuda2019/

[mail] info@chokugen.com

[twitter 英語] T_Masuda_eng/

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

ものの見事に騙され続ける世界！

（下記は小冊子 Vol.128 の「はじめに」の全文である。

1760年より世界を騙し続けているのはロスチャイルド家である。

ロスチャイルドの世界を騙す手口は時代をリードする覇権国の通貨発行権を手に入れることである。

通貨発行主になれば、マネー（通貨）も通貨が変身した株式、不動産、商品などの資産を溜め込む必要はない。

ロスチャイルドが代表するユダヤ資本が狙うのは通貨発行権を持つ中央銀行を支配して経済を支配すると同時に世界のどこであれ、経済のコメであるエネルギー源が豊富な地域で革命や戦争を起こして傀儡政権を樹立してエネルギーを支配することである。

民主主義を基盤とする「小さい政府」では個人の自由が国民の権利である為、通貨だけで国民を支配するのは難しい。

国民が権利として国家にマネーを請求する「小さな政府」ではなく、国民が政府に頭を下げてマネーを懇願するような「大きい政府」になれば国家を通して国民を支配し易くなる。

戦後ユダヤ資本は基軸通貨ドルにモノを言わせて世界経済を支配してきたが、今や限界が見えてきたので、今度は金と資源にモノを言わせる金・資源本位制に移行しなくてはならなくなった。

国民を現在の器から新しい器に移すのは容易ではない。

タイムリーに新型コロナが発生し国民は2020年3月から2年以上も国家に従わざるを得なくなり、「大きな政府」から国民の違和感が消えた。

さらに一向に収まらないインフレによる家計困窮から国民は増々政府支援に頼るようになってきた。

そしてユダヤ資本は来るべきバブル崩壊（大暴落）で、緩和政策で膨張した国民の資産が失われる分を吸収し、増々国民を操り人形にする。

ウクライナ戦争、さらに台湾有事で国家は公共投資としての防衛費増額を繰り返し、ウクライナ支援の名のもとに支援を受けるユダヤ資本傘下の裾野の広い基幹産業（兵器産業）が成長、拡大し経済を主導することになる。（主導とは支配）

新型コロナ、ウクライナ戦争、対口制裁、止まらぬインフレ、そして大きい政府は一体何の為だったのか。

誰が起こしたかは別にして、誰の、何の為なのかは自明である。

川面のしぶきやさざ波に気を取られ、川面を動かしている川底のうねりを知ることなく、バイデン、プーチン、習近平は覇権をめぐる日々を送っている。

3人とも自分たちは常に誰かに操られている大根役者であったことを死ぬまで知ることはないだろう。

「小冊子」Vol.128「いつまで続く欺瞞の日々」を読めば、「日々間違いのない行動」が出来るようになる。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。